

## 効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築に関する研究

研究分担者：吉岡 健太郎	藤田医科大学	肝胆膵内科	教授
研究協力者：川部 直人	藤田医科大学	肝胆膵内科	准教授
研究協力者：服部 悟	岡崎市保健所		保健所長
研究協力者：青山 政美	岡崎市保健所		保健師
研究協力者：峯澤 和恵	岡崎市保健所		保健師
研究協力者：松本 佳奈	岡崎市保健所		保健師

**研究要旨：**岡崎市の肝炎ウイルス検査陽性者を対象に平成 24 年からアンケート調査を毎年行い、肝炎ウイルス検査陽性者の多くが医療機関を受診していない状況が明らかとなった。またアンケート送付時に「肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業」の同意書を送ることを毎年繰り返すことにより、同意率は次第に上昇してきた。アンケート調査の結果を受けて、平成 28 年度から肝炎ウイルス検査陽性者の受診率向上のため、岡崎市保健所では初診予約支援を行うことにより「肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業」への参加を促進するシステムを構築した。このシステムでは、肝炎ウイルス検査結果報告書が届く時期に合わせて、初回精密検査費用助成に関する通知を行い、通知を送付してから 3 か月間連絡がなかった者に対し、保健師からの電話や通知の再発送で精密検査の再受診勧奨を行っている。これにより医療機関受診率が確実に向上している。個人情報および通し番号と個人の連結表は岡崎市保健所が管理し、当研究班の班員は、個人情報をみることができないように工夫した。

### A. 研究目的

平成 14 年より肝炎ウイルスの無料検査が行われ、多くの肝炎ウイルス感染者が発見されている。しかしこれらの肝炎ウイルス感染者がその後適切な検査を受け、適切に治療されているかは十分に検討されていない。むしろ肝炎ウイルス陽性であることが見つかったのに、そのうちの一部しか適切な診断や治療を受けていないという報告がある。ウイルス性肝炎の治療法が著明に進歩した現状において、適切な治療を受けていない人がいることは、重大な問題である。

そこで岡崎市で行われた肝炎ウイルスの無料検査（平成 20 年～25 年）の検診陽性者に平成 24 年からアンケートを送付し、その後の対応について毎年調査している。平成 25 年度からは調査票に通し番号を振り、岡崎市保健所では個人識別ができるようにし、

保健所ではアンケート調査の結果によって、直接個人に受診勧奨を行うことができるようにした。平成 26 年度のアンケート調査からは「肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業」への参加同意書も同封している。平成 28 年度から肝炎ウイルス検査陽性者の受診率向上のため、岡崎市保健所では初診予約支援を行うことにより「肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業」への参加を促進するシステムを構築した。

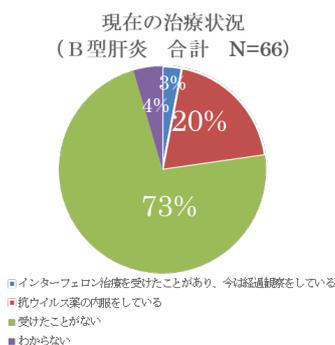
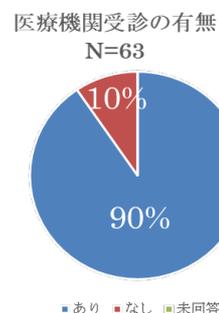
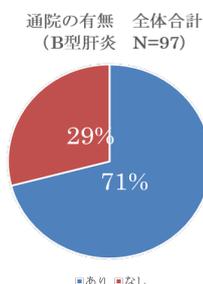
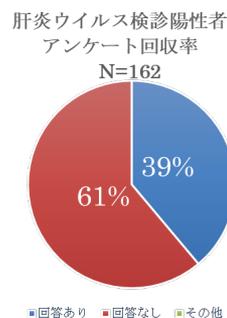
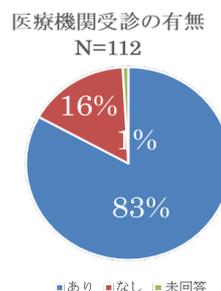
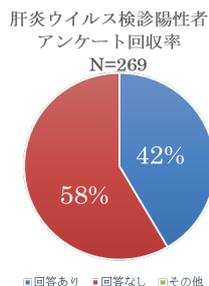
### B. 研究方法および結果

#### 1. B 型肝炎

平成 20～30 年度肝炎ウイルス検診受診者のうち、B 型肝炎ウイルス陽性者(269 名)については、フォローアップ事業への参加同意が得られたのは、61%(164 名)であり、平成 26 年の 36%に比べて、著明に上昇して

いた。

アンケート回収率は 42% (112 名) であり、そのうち医療機関を受診した人は 83% (93 名) であった。

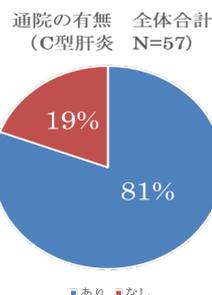


現在の通院している人は 71% (66 名) であり、治療状況は、インターフェロン治療を受けたことがあり、今は経過観察をしている人が 3% (2 名)、抗ウイルス薬の内服をしている 20% (13 名)、治療を受けたことがない人が 73% (48 名) であった。

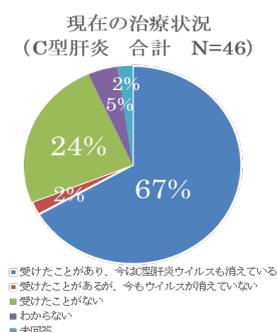
## 2.C 型肝炎

平成 20 ~ 30 年度肝炎ウイルス検診受診者受診者のうち、C 型肝炎ウイルス陽性者 (162 名) については、フォローアップ事業への参加同意が得られたのは、56% (87 名) であり、平成 26 年の 25% に比べて、著明に上昇していた。

アンケート回収率は 39% (63 名) であり、そのうち医療機関を受診した人は 90% (57 名) であった。



現在の通院している人は81%（46名）であり、治療状況は、治療を受けたことがあり、今はウイルスが消えている人67%（30名）、治療を受けことはあるが、今もウイルスが消えていない人は2%（1名）、治療を受けたことがない人が24%（11名）、分からない人が5%（2名）であった。



### C. 考察

アンケート調査に回答した患者では医療機関を受診した人の割合は、B型83%、C型90%と高いものの、回答率はそれぞれ42%、39%と半数以下であり、個別の対応が必要と思われた。

フォローアップ事業への参加同意が得られたのは、B型肝炎ウイルス陽性者では61%であり、平成26年の36%に比べて、著明に上昇していた。またC型肝炎ウイルス陽性者でも56%であり、平成26年の25%に比べて、著明に上昇していた。同意率が上昇したことについては、平成26年度のアンケート調査から「肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業」への参加同意書を同封し、毎年同意を促したことが、効果があったと思われる。

また岡崎市保健所では、これまでのアンケート調査の結果を踏まえて平成28年度から新たに見つかった肝炎ウイルス陽性者については、結果報告後2から4週間以内に「肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業」への参加を呼び掛ける手紙を郵送し、早期勧奨をしている。フォローアップ事業

への参加を承諾すると初回精密検査医療費助成が受けられることを伝え、フォローアップ事業同意者を対象に紹介状の作成、必要時に受診予約を保健所が実施している。平成30年度からは前回通知を送付してから3か月間連絡がなかった者に対し、保健所からの電話や通知の再発送で精密検査の再受診勧奨を行っている。早期勧奨をしなかった時期には、医療機関受診を確認できたものは41%（31/76）であったが、早期勧奨を行うようになり50%（28/56）になり、早期勧奨と再勧奨を行うようになってからは83%（5/6）にまで上昇している。

回答が得られた患者の治療状況については、B型肝炎ウイルス陽性者では抗ウイルス薬の内服をしている人が20%、治療を受けたことがない人が73%であった。これは一般的な健康キャリアの割合にほぼ一致しており、大部分の人が適正な診療を受けていると思われた。

一方C型肝炎ウイルス検査陽性者では治療によりウイルスが消えている人が67%であるが、治療を受けたことはあるが、今もウイルスが消えていない人が2%、治療を受けたことがない人が24%、分からない人が5%であり、適切な治療を受ける必要のある患者が31%残っていた。

### D. 結論

「肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業」への参加同意書をアンケート調査書に同封し、毎年同意を促すことにより同意率を向上させることができた。また岡崎市保健所では早期勧奨、再受診勧奨を行うシステムを構築し、医療機関受診率が確実に向上している。

## E. 政策提言および実務活動

### < 政策提言 >

厚生労働科学研究費・肝炎等克服政策研究事業「職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究」分担(H29-R1)、「効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築」分担(H26-H28)として研究活動を行い、その成果として肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業を高める方法として、毎年アンケート調査を行い同意を促すことで効果があることを示した。また岡崎市保健所は早期勧奨、再受診勧奨を行うシステムを構築した。具体的には、結果報告後2から4週間以内に「肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業」への参加を呼び掛ける手紙を郵送し、早期勧奨をしている。フォローアップ事業への参加を承諾すると初回精密検査医療費助成が受けられることを伝え、フォローアップ事業同意者を対象に紹介状の作成、必要時に受診予約を保健所が実施している。さらに前回通知を送付してから3か月間連絡がなかった者に対し、保健師からの電話や通知の再発送で精密検査の再受診勧奨を行っている。このシステムにより医療機関受診率が確実に向上している。

### < 研究活動に関連した実務活動 >

上記の研究班活動に加えて、藤田医科大学病院肝疾患相談室室長として、厚労省肝炎対策推進室、全国肝疾患診療連携拠点病院と連携し、肝炎に関する総合的な施策の推進活動に携わっている。更に愛知県肝炎診療協議会委員として、県の肝炎ウイルス対策部署と連携し、また岡崎市保健所と協力して肝炎撲滅対策に取り組んでいる。

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

## 2. 学会発表

- (1) 肝炎ウイルス陽性患者の検査結果説明および受診勧奨・継続管理の取り組み . Vol.60Supplement(1)肝臓 A266 . 片岡優美、三井有紗、宮地洋平、宮地小百合、高村知希、倉下貴光、越智友花、大城昌史、中岡和徳、中野卓二、福井愛子、川部直人、橋本千樹、廣岡芳樹、吉岡健太郎
- (2) 自治体における肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステム 受診受療勧奨による行動変容の解析 . Vol.60Supplement(1)肝臓 A285 . 相崎英樹、川部直人、服部悟、吉岡健太郎、脇田隆字

## 3. その他

### 啓発活動

- \* 吉岡健太郎：世界肝炎デー inふじた2019 令和元年年7月26日  
開催地：藤田医科大学病院  
主催：藤田医科大学病院

## G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし